

図書室だより



令和4年 9月号
武庫小学校図書室

がっき 2学期スタート!

夏休みは計画的に過ごすことができましたか? 新型コロナウイルスで思うように行動できなくて、もどかしい思いで夏休みを過ごした子もいるのではないのでしょうか。コロナが早く終息してほしいと願うばかりです。さあ、色々したいことや行きたいところがあるのに…と、思ってもやもやしている時こそ読書の出番です! 本の中では、心配することなく、どこにだって行けますよ! 「読む本がない」「本はめんどくさい」と思っている人は、自分にピッタリな本にまだ出会っていないだけです。途中で返してもいいですから、次々に本を借りてほしいと思います。(2、3ページでは面白いかわかりませんから、もう少し読んでみてね。) そのうち、自分にとって面白い本に出会うことができるはずですから。



まだまだ暑い日が続きますが、元気に2学期の活動を開始してください! 今学期も皆さんの学習のお手伝いがたくさんできればと思います。図書室をぜひ活用してください。2学期にはみんなが楽しみにしている、新しく購入した本を図書室の並べる予定です。貸出の準備ができれば、お知らせします。もうしばらく待っていてくださいね!

毎月23日は 家族読書の日



今月のテーマは「平和」です。平和について考えるきっかけになればと思います。

9月20日は、「家庭読書の日」となっています。宿題に読書が出るので、ご家族と一緒に本を読んでもらえるとうれしいです。

「へいわってすてきだね」

安里 有生/詩 長谷川 義史/画



「みんなのころから、へいわがうまれるんだね。」小学校1年生が朗読した詩に平和へのメッセージがこめられています。みんなはなにが平和だと考えますか?

「きみにきいてほしい 広島に来た大統領」

バラク・オバマ/述 池上 彰/訳 葉 祥明/画



2016年5月27日、アメリカのオバマ大統領が広島を訪問した際の演説が訳され本になりました。未来を生きる日本の子どもたちへのメッセージです。

「ラグリマが聞こえる」

ささぐち ともこ/著 くまおり 純/絵



ミオンは広島の小学生。ある日、古い洋館から聞きおぼえのあるギターの曲が流れてくるのを耳にします。洋館には怪人が住んでいると聞いて、確かめに行くことに…。

「パンプキン! 模擬爆弾の夏」

令文ヒロ子/作 宮尾 和孝/絵



原爆投下の練習のため模擬原爆・通称パンプキン爆弾。自分の住む町に模擬原子爆弾が落とされたことを初めて知ったヒロカは、夏休みの自由研究でパンプキン爆弾について調べてみることに…。

「ワタシゴト 14歳のひろしま」

中澤 晶子/作 ささめや ゆき/え



修学旅行で広島を訪れた5人。戦争なんて遠い過去で自分には関係ないと思っていたけれど、原爆資料館の見学や戦争の体験を聞き、自分の悩みと比べていく中で…。ワタシゴトとして戦争を考えていく中学生のお話。